

伊豆市監査委員告示第5号

地方自治法第199条第7項の規定に基づき財政援助団体等監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり公表する。

令和元年7月1日

伊豆市監査委員 宮内 知秋
伊豆市監査委員 杉山 誠



1 監査の種類及び対象

(1) 財政援助団体の監査

所在地 伊豆市大沢 1018-1
名称 だるま山レストハウス
所管課名 産業部観光商工課

(2) 指定管理者の監査

対象施設 湯の国会館（伊豆市青羽根 188）
指定管理者 東京都北区王子 3-19-7
株式会社 サンアメニティ
所管課名 産業部観光商工課

2 監査の範囲

市直営施設及び公の施設の指定管理者である団体の当該事業に係る収入支出その他の事務の執行状況

3 監査の期日

令和元年5月30日（木）

4 監査の方法

提出された監査資料に基づき、関係者から説明を受けた後、事情聴取及び関係書類の審査を行った。

5 監査の結果

今回監査を実施した範囲における出納及びその他の事務事業については、おおむね適正に管理されているものと認められた。

当該監査結果における意見・要望事項は、次の6のとおりである。

6 意見・要望事項

(1) だるま山レストハウス

平成 30 年度決算の収入は、事業収入 21,145,344 円（前年比 110%）、収入の内訳としてレストハウス 12,258,314 円（58.0%）とロッジ・キャンプ場 8,887,030 円（42.0%）である。歳出として、管理事業費 19,673,149 円（前年比 105%）が支出されている。

平成 30 年度の施設利用者は、レストハウス利用者 26,801 人（前年比 99%）、ロッジ利用者 1,275 人（前年比 126%）、キャンプ場利用者 3,273 人（前年比 79%）であった。

現金の取り扱い及び日常の業務処理について監査を行った。

現金取り扱いについて、レジスターの機能が古いため、通番の管理ができていない。釣銭については、レストラン及びキャンプ場において適正に管理されており、売上げの入金は、毎週 1 回入金している。

従業員の勤務体制は、平日 3 人、土日 4 人で対応しており、夏の繁忙期は、アルバイトを採用し対応している。

施設状況は、新しくライブカメラを設置し、1 時間毎に更新している。駐車場の女子トイレの洋式化が遅れていることと全般的に老朽化していることを踏まえ、県に改修、修繕を計画的に要望する必要がある。

素晴らしい景色に対し、近隣の同規模施設と比べ認知度が劣る。観光のルートにうまく乗せることが必要である。観光名所としてのステータスを上げるように県に積極的に働きかけをしていくことが重要である。

今後、全体的な収支のバランスシートの作成を希望する。

また、キャッシュレス化と消費税改正に伴うレジスターの更新をする必要もある。

(2) 株式会社 サンアメニティ

決算については、概ね収支均衡である。

指定管理料は受けず自主運営により、湯の国会館の管理運営を行っている。平成 30 年度は開業 30 周年の年で、よしもとクリエイティブエージェンション所属の演者を迎えての音楽や餅まき、入館ポイントの 2 倍、3 倍等の各種のイベントを開催し、お客様と祝った。また、季節の野菜や果物の販売を始め、野菜、果物を目的にお風呂に入りに来るリピーターも増えている。レストランにおいては、食べ放題、飲み放題のイベントを毎月開催し、地元のお客さんの利用拡大に努めている。天城北道路の月ヶ瀬 IC 延伸開通の影響で、流通する自動車の流れも変わったが、市民の利用が全体の半分以上に増えているためか、入館数にそれほどの影響がない。

積極的な各種イベントの開催の効果があり、入館者数は 70,064 人（前年比 103%、前々年比 109%）と増加傾向にある。

施設が老朽化しており、修繕等必要な個所が多々あるが、指定期間が 3 年のため長期的な投資ができないこと、また燃料費、水道光熱費の高騰が懸念される。

今後は、湯の国会館を災害時の緊急的な避難場所として提供していくこと、高齢者の居場所づくりとして今以上に地域と交流していくことを計画している。また、レジキラーの有効性や良質な源泉の PR 等をネット配信する方針である。

7 監査の概要

(1) だるま山レストハウス

① 監査の種別 財政援助団体等（市直営）

② 収支決算状況（平成 30 年度）

(1) 収入

項目	年度	平成 30 年度	平成 29 年度	比較 (%)
1 レストハウス	利用者数	26,801 人	27,053 人	99.1
	収入金額	12,258,314 円	11,733,810 円	104.5
2 ロッジ	利用者数	1,275 人	1,012 人	126.0
	収入金額	4,611,750 円	3,391,150 円	136.0
3 キャンプ場	利用者数	3,273 人	4,147 人	78.9
	収入金額	4,275,280 円	4,161,710 円	102.7
合計	利用者数	31,349 人	32,212 人	97.3
	収入金額	21,145,344 円	19,286,670 円	109.6

(2) 支出

項目	金額	備考
1 賃金	3,623,068 円	臨時職員
2 需用費	9,207,099 円	消耗品、燃料、電気料、ガス料、修繕、賄材料等
3 役務費	1,005,637 円	電話料、保険料、手数料
4 委託料	5,074,051 円	業務委託、保守点検委託等
5 使用料及び使用料	763,294 円	借地料、備品借上料等
合計	19,673,149 円	

(2) 株式会社 サンアメニティ

① 監査の種別 指定管理者

② 指定管理の目的

湯の国会館を管理運営し、利用者にとって快適な施設の環境づくり及び施設の利用促進を目指すとともに、日常または定期的に施設に必要な保守点検業務等を行うことにより最良な状況を維持し、安全の確保に努める。

③ 指定管理施設 湯の国会館

④ 指定管理期間 平成 29 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日まで 3 年間

⑤ 指定管理料 なし

